

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [見附市立葛巻小学校] 担当教諭名 [星野 裕樹] (6年1・2・3組 84名)

相手国・地域 [メキシコ]

海外学校名 [Comunidad Educativa Yaxunah] 担当教諭名 [Karina Abreu]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	つくろう仲間とともに 明るい未来を	25
	外国語	自己紹介 日本紹介 活動紹介	8
	図工	アートマイルプロジェクト	5

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	豊かな大地を守ろう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	地球に生きるすべての生き物たちの営みは、緑豊かな大地の上に成り立っている。日本の米、メキシコのトウモロコシは、昔からその土地で栽培され、人々の食生活と文化を支えてきた。ともに手を取り合い、自然を大切にしていこう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間に取り組んだ「世界の現状を知る学習」でメキシコが直面している課題について考えることができた。 「話す」という目的に向かって、必要性のある英語・英会話の学習を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが抱いた疑問を相手国に投げかけるなど、双方向性のある取組を十分に実施することができなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> メキシコの文化や気候などに興味をもった。 コロナの蔓延が継続・拡大していることから、オンラインなど工夫した生活をしていることに気付いた。 国は違っていても同じような問題意識をもって学ぶ子どもたちがいることに気付くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きなマンガや好きなアニメなどを伝えあった時に大いに盛り上がった。「共感すること」は、協働的に学ぶ上で大切な要素であることに気付いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> 日本のどこを紹介したいのかを考え、イラストと英語で表現できるように準備・練習した。 自分たちの学びが相手に伝わるようにキャッチコピーをグループごとに作成してフォーラムにアップした。 	<ul style="list-style-type: none"> メキシコという国について地図やタブレットを使って調べていた。 日本を紹介する活動を通して、自国の文化の素晴らしさに気付き、誇りをもつようになった。 	総合7 外国語3
共有 テーマ学習	9月	<ul style="list-style-type: none"> Zoomを使った交流に向けて、シナリオ作りと英文訳および会話練習をした。 自分たちの続けてきたSDGsを短くまとめ、メキシコの小学生に質問したいことを挙げた。上手く伝えられるように英語にして練習した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「小学生に分かりやすく伝える」という明確なめあてをもち、タブレットを活用したり、通訳の先生から聞いたりして、進んで英会話を学んでいた。 	総合6 外国語4
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの意見を聞きながら、教師間で伝えたいメッセージを決定した。→「豊かな大地を守ろう」 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の思いを受け取り、自分たちの学びと関連付けて活動を進めることができた。 	総合2 外国語1
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは壁画の構図を2タイプ考えて相手校に提案した。 全員が少しずつ彩色して完成させた。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の国が何を大切にしようとしているのかを読み解き、構図や絵の内容を考えて提案することができた。 	総合2 図工5
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> 卒業公演会「地球の未来とわたしたちの6年間」を上演し、課題解決の重要性を訴えた。 壁画は卒業式の会場に掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成した壁画を見て、離れていても地球が抱える課題を協力して解決することができるということを実感していた。 	総合8

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついった 4:ついった 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	日本の主食は米であり、日常生活と切り離せないことを子どもたちは知っている。それと同様にメキシコはトウモロコシを大切にしているということを非常に興味深く、かつ共感的にとらえていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	道徳の学習では批判的に思考させることが多いが、実際に相手に伝えるとなると話が違う。「仲が悪くなりそう」とか「気分を害したらいけない」などと思ってしまい、批判的に考えることが難しい。
主体的に考え行動する力	4	「英語で伝える」「解決策を調べる」「質問したいことを挙げる」など、タブレットを活用したり、通訳ボランティアに聞いたりしながら意欲的に学習することができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	2	子どもたちの中には「こうしたい」という思いはあったものの、相手の状況や残された時間を考えると、自分の思いを伝えきれなかった面がある。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	総合的な学習の時間の一環で取り組んでおり、アートマイルを担当したリーダーを中心に活動した。特にリーダーを担った子どもたちは責任感や相手の思いを読み解く力が高まった。